

## 2023年度

### ニチキッズ築館みやの保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月26日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し、自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月15日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化して改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人一人の姿を受け止め、子どもが主体的におもいっきり活動できるよう保育者が子どもの気持ち、子どもの立場になり保育を組み立て実施する指導計画を作成し、子どもの世界を共感しながら子どもも保育者もおもいっきり楽しめる保育園作りを目指した。
子どもの発達援助	各年齢、月齢ごとの発達段階を踏まえて、指導案を立案し、活動を通して子ども一人一人の発達状況に合わせた関わり、援助をしたことにより、個々の成長、集団の成長へと繋げることができた。2歳児に於いては、“チクチク言葉”“フワフワ言葉”と表現し、友達に発する言葉について子ども自身が考える機会を設け、友達に対する思いやりの気持ちを育てることができた。
保護者に対する支援	コロナが5類になった事により、登園、降園時に日々の子どもの様子（遊び、活動、友達との関わり、成長した面など）を詳しく伝えることができた。また、運動会、発表会、保育参観などの行事を通して我が子の成長した姿を実際に見てもらえる機会や、クラス懇談会、保育相談を実施し、子育てに対する不安や悩みを話し合える場をつくり、保護者が子育てに見通しを持てるよう支援することができた。
保育を支える組織的基盤	職員間の報告、連絡、相談を徹底することを職員一人一人が意識し保育に取り組んだことで、安心、安全な保育と保護者との信頼関係の構築に繋がった。また、保育の基盤となる全体的な計画を基に立案する段階で、チームごとに十分に話し合うことで、子どもの発達段階に合った保育の実現に繋がった。

総評
保育者が子ども一人一人の発達段階を理解し、子どもを主体とした保育を丁寧に援助することで、子ども達がいきいき過ごし新しい経験ができるような「おもいっきり保育」を展開し個々の成長を促すことができた。又、コロナが5類になった事により近隣の保育園と合同でハロウィンパレードを行ったり地域の敬老会に参加したりと地域の方々との交流も深めることができた。現代社会の中で大いに求められるコミュニケーション能力を様々な活動を通して伸ばすことができたと思う。次年度も、ゆったりと一人一人に寄り添い、乳幼児期の成長を見守りながら子ども主体の保育を奨め、伸び伸びと過ごし、自分を十分に表現しながら幼稚園入園の基礎に繋げる保育を行っていききたい。